

2024年12月期 第1四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した主なご質問内容をまとめました。決算短信及び決算補足資料と併せてご覧ください。

## 1. 業績見通し

**Q1：2024年12月期通期の当期利益見通しが期初予算の3,300億円から3,600億円（+300億円、9.1%増）へと上方修正された背景は？**

A1：2024年12月期第1四半期においてイクシスプロジェクトをはじめとする主要プロジェクトの安定操業のもと、原油価格が上振れたこと、また、為替が円安方向に推移したことに加えて、第2四半期以降の原油価格及び為替の前提条件を見直したことが背景。

業績予想の増益額300億円の内訳は、油価影響及び為替影響といった外部要因で583億円増、プロジェクト要因等の基礎収益要因で143億円減、その他事業収益要因により140億円減。

## 2. 株主還元

**Q1：今般、第1四半期で自己株式取得を決定した背景は？**

A1：過去2年においては第2四半期決算公表時に自己株式取得を決定・公表していた。しかしながら、イクシスをはじめとする主要プロジェクトの安定操業のもと、油価・為替が堅調に推移したことにより、今回は第1四半期時点で通期の業績予想を上方修正済み。

足許の株価が割安な水準と認識していることに加えて、昨年公表した「企業価値の持続的向上に向けて」に鑑み、機動的な還元を行うべく500億円の自己株式取得を決定した。

**Q2：FY2024の総還元性向は現時点では40%とのことだが、追加還元はあるのか？**

A2：引き続き、業績予想の推移と外部環境の変化等を踏まえて、第2四半期決算以降の追加の株主還元を検討する。

## 3. イクシス

**Q1：イクシスの利益貢献はどの程度か？**

A1：順調な生産状況を反映し、2024年12月期第1四半期累計でセグメント利益908億円、通期見通しでは約2,500億円となる見込み。なお、本年1月から4月までのLNG出荷カーゴ数は44隻。カーゴ数の詳細については、補足説明資料に記載。

## 4. アバディ

**Q1：プロジェクトの進捗状況と今後の見通しは？**

A1：今後FEED（Front End Engineering Designの略。基本設計を指す）を実施し、その結果十分な投資可能性ありと判断した場合はFIDの上、EPCを実施する。一般的にFEEDには2年、EPCには4-5年程度を要する。インドネシア政府から2030年インドネシア国家生産目標（原油100万バレル、天然ガス12Bcf/d）への貢献を強く要請されていることもあり、当社としても2030年ごろの生産開始を目指していく。

以上

注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。